

平成28年度地産地消等推進全国フォーラム 開催概要

■開催日時：平成28年11月5日（土）14:00～17:00

■開催場所：丸の内ビルディング 7階「丸ビルホール」

東京都千代田区丸の内2-4-1丸ビル7階 電話 03-3217-7111

■参加人数：120名

■主催：農林水産省、全国地産地消推進全国協議会

■実施プログラム（敬称略）

14:00 開会・挨拶

農林水産大臣政務官

矢倉克夫

文部科学省 初等中等教育局 健康教育・食育課長

和田勝行

14:10 表彰式・写真撮影

- ・平成28年度地産地消等優良活動表彰
- ・第9回地産地消給食等メニューコンテスト

メッセージ・審査講評

全国地産地消推進協議会 会長（東京農業大学 名誉教授）小泉武夫

地産地消等優良活動表彰 審査委員長

全国地産地消推進協議会 副会長（筑波大学 名誉教授）永木正和

地産地消給食等メニューコンテスト 審査委員長

服部栄養専門学校 校長

服部幸應

15:10 受賞事例発表（6団体）

■平成28年度地産地消等優良活動表彰

●農林水産大臣賞（地域振興部門）

農業生産法人 株式会社あいあいファーム（沖縄県）

●農林水産大臣賞（交流促進部門）

J Aおうみ富士 ファーマーズ・マーケットおうみんち（滋賀県）

●全国地産地消推進協議会会長賞（消費拡大部門）

みやぎ生活協同組合（宮城県）

■第9回地産地消給食等メニューコンテスト

●文部科学大臣賞（学校給食・社員食堂部門）

川辺町学校給食センター（岐阜県）

●農林水産大臣賞（学校給食・社員食堂部門）

岩手県立中央病院 栄養管理科（岩手県）

●農林水産大臣賞（外食・弁当部門）

株式会社丹青社 福岡県物産観光展示室よかもんカフェ（福岡県）

16 : 15 受賞者ミニスピーチ・審査委員コメント

■平成28年度地産地消等優良活動表彰

●農林水産省 食料産業局長賞（地域振興部門）

J A東京むさし 小平支店（東京都）

農業生産法人 有限会社山国さきがけセンター（京都府）

●農林水産省 食料産業局長賞（交流促進部門）

山形県南陽市立梨郷小学校

子どものうぎょうせいさんほうじん のびのびファーム（山形県）

唐戸魚食塾（山口県）

●農林水産省 食料産業局長賞消費拡大部門

さいたまヨーロッパ野菜研究会（埼玉県）

■第9回地産地消給食等メニューコンテスト

●農林水産省 食料産業局長賞（学校給食・社員食堂部門）

高浜町学校給食センター（福井県）

中津川市立東小学校・田瀬小学校（岐阜県）

佐伯市立佐伯小学校（大分県）

社会福祉法人出光会 上高田保育園（長野県）

株式会社グリーンハウス デンソー5号館営業所（愛知県）

●農林水産省 食料産業局長賞外食・弁当部門

ふるさとにしなす産直会 おふくろ亭（栃木県）

葉っぱ〜カフェ tutti（富山県）

●地産地消給食等メニューコンテスト審査委員特別賞

（学校給食・社員食堂部門）

認定こども園 さざなみ保育園（熊本県）

17 : 00 閉 会

実施の内容

平成 28 年 11 月 5 日（土）に、丸の内ビルディング 7 階「丸ビルホール」（東京都千代田区）にて、農林水産省並びに全国地産地消推進協議会主催の、平成 28 年度地産地消等推進全国フォーラムを開催しました。

本フォーラムでは、平成 28 年度地産地消等優良活動表彰（以下、優良活動表彰。）と、第 9 回地産地消給食等メニューコンテスト（以下、メニューコンテスト。）の表彰式を行い、農林水産大臣賞は、矢倉克夫 農林水産大臣政務官より、農林水産省食料産業局長賞は、出倉功一 農林水産省食料産業局食文化・市場開拓課長より、文部科学大臣賞は和田勝行 文部科学省初等中等教育局 健康教育・食育課長より賞状が授与されました。

また、優良活動表彰の中から選ばれました、全国地産地消推進協議会会長賞は、小泉武夫会長（東京農業大学名誉教授）より、メニューコンテストの審査委員特別賞は、審査委員長である、服部幸應氏（服部栄養専門学校校長）より、それぞれ賞状が授与され、舞台上で記念撮影を行いました。

次に、受賞者をはじめ参加者への応援メッセージとして小泉先生より、今後の日本の自給率を考える上でも地産地消の取り組みは大事であるとお話をいただきました。

また審査講評は、優良活動を審査委員長の永木正和氏（筑波大学名誉教授）より、メニューコンテストは服部幸應氏より、今年度の応募の傾向や審査委員会の様子、選定に至った経緯等についてお話をいただきました。

続いて、今年度の受賞事例発表として、優良活動表彰から、「農業生産法人 株式会社あいあいファーム（沖縄県）」、「J Aおうみ富士 ファーマーズ・マーケットおうみんち（滋賀県）」、「みやぎ生活協同組合（宮城県）」、メニューコンテストから、「川辺町学校給食センター（岐阜県）」、「岩手県立中央病院（岩手県）」、「株式会社丹青社 福岡県物産観光展示室よかもんカフェ（福岡県）」から、10分ずつ、地産地消の取組について紹介を行いました。どの事例も、色々なアイデアで地場産食材を大事に、地域の生産者や行政等と連携を図り、また消費者との交流を行いながら、生き生きと活動されている様子が伝わってくる、内容の濃い発表でした。

続いて、食料産業局長賞並びに、メニューコンテスト審査委員特別賞の受賞者より、ミニスピーチを頂きました。短い時間ではありましたが、食育や地産地消、交流活動等に取り組む熱い思いを伺うことが出来ました。会場には、それぞれの審査委員もお越しいただき、優良活動表彰では、永木委員をはじめ、野見山委員（東京農工大学大学院教授）、古屋委員（(有)アイエヌアールコンサルティング代表取締役）、メニューコンテストでは、浦上委員（元 J A 高岡高岡市農業センター）、金田委員（女子栄養大学名誉教授）、山際委員（㈱山際食彩工房 代表）から、受賞者お一人お一人に選定されたポイント等について一言コメントをいただきました。

当日は、120名ほどの皆さまに会場へお越しいただき、盛会に開催することができました。ご来場をいただきました皆様に御礼を申し上げますとともに、改めまして、受賞されました皆様、おめでとうございます。